

特集

「忘れられない患者さんのこと」 「私が大事にしている看護観」

社本昌美、新田マリア、増田里美、成嶋のり子、長嶺真知子、栗原信広、成瀬光、早川達也、
小瀬憲二、山崎文雄、栗田真由美、ほか

特集

マンガでわかる 現場の“困った”を解消する看護理論 ロイの適応システム、ほか

中村創（精神看護専門看護師）＋ 水谷緑（漫画家）

*予定ですので、著者、内容含め変更になる場合があります。

2021年3月号特集名に関しまして（編集部の見解）

3月号の特集タイトル「ピアサポーターを活用すると、こんなに素晴らしいことが起きる」につきまして、「ピアサポーターへの敬意に欠けるのでは」という指摘をいくつかいただきました。ピアサポーターの皆さまへの敬意からこの特集が企画されたにもかかわらず、ご指摘の通り、特に人を「活用」という言葉遣いは企画趣旨に反するものでした。そのような特集名を付けてしまった当方の未熟さを痛感するとともに、ピアサポーターの皆さまをはじめ、特集に登場して下さった方々に心よりお詫び申し上げます。

当方ではご指摘をくださった方々にあらためて連絡を取り、その趣旨を質問させていただいたところ、次のようなことを教えていただきました。

——精神医療界全般では、残念ながらまだ当事者や患者さんの存在や力に対して敬意を欠いた関係性が現存している。そんな

なか、「活用する」という言葉は、人を道具として都合よく利用するかの印象を与える。また「素晴らしいことが起きる」という言葉も、ピアサポーターが直面している現実には照らすと違和感が大きい、と。

（なお、この指摘は、特集に掲載された東京武蔵野病院の活動を指してではなく、あくまで精神医療界全般で起きていることと特集タイトルの関係についての指摘である、とのことでした）

このようなご意見をくださり、弊誌に認識を改める機会を与えていただいたこと、大変ありがたく感じました。今回の学びから、今後はぜひ、ピアサポーターをめぐるリアルな現実をベースに、私たちは何ができるのかを考えていけるような記事を作っていけたらと考え、動き出しています。

最後に、ご指摘くださるには勇気も労力も必要であったと思うと、感謝しかありません。あらためて御礼を申し上げます。

精神看護 第24巻第3号 2021年5月15日発行（隔月刊） 発行：株式会社医学書院 代表者：金原俊 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo ©2021, Printed in Japan 販売・PR部：☎03-3817-5659

「精神看護」編集部：☎03-3817-5769 FAX03-5804-0485 担当：石川・伊藤 E-mail: seikan@igaku-shoin.co.jp

本文・表紙デザイン：高見清史 (view from above) 表紙・目次写真：齋藤陽道 印刷・製本：アイワード

1部定価：1,650円（本体1,500円＋税）

2021年年間購読料（送料弊社負担、年間6冊）：冊子版8,382円（本体7,620円＋税）／冊子＋電子版（個人）11,682円（本体10,620円＋税）／電子版（個人）8,382円（本体7,620円＋税）

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

©COPY (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（☎03-5244-5088、FAX03-5244-5089、info@copy.or.jp）の許諾を得てください。

*「精神看護」は、株式会社医学書院の登録商標です。